緩和的画像下治療（IVR）

の実施体制について

【荒尾市立有明医療センター】

【掲載日／2026年9月1日】

IVR（画像下治療）とは



X線透視・CT・超音波などの画像で体の中を確認しながら、
細い針やカテーテルを使って行う、体への負担の少ない治療です。

①

体への負担が少ない

局所麻酔で行えるものが多く、手術のように大きく切開しません

②

効果が早く現れる

処置後、比較的早期に症状の緩和を実感しやすいのが特長です

③

正確な処置ができる

画像で病変を確認しながら、精密に針やカテーテルを進めます

抗腫瘍目的のIVRと緩和目的のIVRの違い

同じ治療手技でも、行う「目的」によって分類が異なります。



抗腫瘍目的IVR

腫瘍の制御・縮小が目的

- 肝動脈化学塞栓療法（TACE）
- 動注化学療法
- 腫瘍焼灼目的のRFA・マイクロ波焼灼療法



緩和目的IVR

症状の緩和・QOL維持が目的

- 止血・疼痛緩和目的の動脈塞栓術
- 胆管ドレナージ・ステント、腹水/胸水ドレナージ 等

当院で対応している緩和目的のIVR

腫瘍による疼痛・圧迫

止血・疼痛緩和目的の動脈塞栓術 等

閉塞性黄疸

胆管ドレナージ・ステント留置

消化管・尿路の閉塞

ステント留置

腹水・胸水の管理

経皮的ドレナージ 等

投与経路の確保

中心静脈ポート 等

実施体制・ご相談窓口

実施体制

【いずれかを選択し、実情に合わせて記載してください】

○ 当院のがんにかかわる診療科にて、緩和的IVRに精通した医師が対応。主治医と連携し適応を検討します。

ご相談窓口

緩和的IVRに関するご相談は、主治医または下記までお問い合わせください。

【がん相談支援センター】
【電話番号】0968-63-1115
【受付時間】9:00〜17:00